

体育科（保健）学習指導略案

6年2組 31名 指導者 基 永 恵
西國原 拓 也

本授業では、以下の検証を行うものである。

病原体がもとになって起こる病気について、グループ活動の中でブレインストーミングの技法を用いて、かかわり合いながら友達のと考えと比べたり、これまでの経験や知識を生かしたりしながら実感を伴って理解することができたか。

1 単 元 病気の予防1

2 指導計画（総時数8時間）

過程	主な学習活動【評価規準】
一 次 (本時)	<p>1 病気の種類や原因について、自分の経験を振り返りながら、課題を見つける。 【態：身の回りで起こる病気に関心を持ち、適切な対策を考えようとしている。】</p> <p>2・3 病原体がもとになって起こる病気の予防について調べる。 【知：病原体がもとになって起こる病気の感染経路を理解し、予防方法が分かっている。】</p> <p>4 生活習慣が関係する病気の予防について調べる。 【態：生活習慣が病気の原因になることに関心を持ち、調査や資料を通して課題を解決しようとしている。】 【知：生活の仕方が関係する病気の予防には、食事、運動、休養、睡眠が関係していることが分かっている。】</p>
二 次	<p>5・6・7 喫煙、飲酒、薬物乱用が健康へ及ぼす影響について理解し、すすめられたときの断り方を話し合う。 【知：たばこの害を理解し、喫煙に誘われたときの断り方が分かっている。】 【知：お酒の害を理解し、飲酒をすすめられたときの断り方が分かっている。】 【知：薬物の害を理解し、薬物をすすめられたときの断り方が分かっている。】 【思・判：自分の経験や情報を生かして、喫煙、飲酒、薬物は絶対にしないという意識を高めることができる。】</p>
三 次	<p>8 地域では、病気を予防するために様々な活動が行われていることを知り、これまで学習してきた病気の原因や予防方法についてまとめる。 【態：様々な病気の予防について学習したことを、自分の生活に当てはめて実践しようとしている。】</p>

3 本 時（2/8）

(1) 目 標

病原体が基になって起こる病気の予防には、病原体を体の中に入れないこと、体の抵抗力を高めることが必要なことが分かるようにする。

(2) 評価規準

病原体がもとになって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であることが分かっている。 【知識・理解】

(3) 指導に当たって

「つかむ・見通す」過程では、前時に行った病気が起こる原因、4つのキーワードやこれらの原因が重なり合って病気になることを振り返り、本時の学習で、病原体が基になっておこる病気、インフルエンザについて学習することを焦点化していく。

「深める」過程では、インフルエンザの予防法についてブレインストーミングの技法を用いながら、肯定的な雰囲気の中で意見をたくさん出し合えるようにする。また、グループの司会者が出された意見を教師と共に、これまでの経験や知識を生かして分類し、さらに自分の考えを上手く表現できない友達を助けたり、出された意見をグループの考えとしてまとめ発表したりできるようにすることで、自分自身を守る方法であることに気付き理解が深まるようにする。

「振り返る」過程では、まとめた予防法についてつながりのある絵を用いて養護教諭の専門性を生かして、意味付けをしていくことで病気の予防についての知識・理解を深め、これからの生活に生かすことができるようにする。

過程	時間	形態	主な学習活動の指導の手だて・評価	教材等
つかむ・見通す	5	みんなで	<p>1 前時の振り返りをする。</p> <p>〔 ・病気の原因は、4つキーワードがあったな。 〕</p> <p>2 めあての確認をする。</p> <p>〔 病原体がもとになって起こる病気の予防法を考えよう。 〕</p> <p>3 学習の進め方を確認する。</p> <p>〔 ・ブレインストーミングでたくさんの考えを出したいな。 ・インフルエンザを予防するには、いつもやることがあるな。 ・友達はどんな予防法を知っているのかな。 〕</p>	<p>ワードカード 掲示資料</p>
深める	35	グループで	<p>4 グループでインフルエンザの予防法についてブレインストーミングを行う。</p> <p>〔 ・ぼくは、手洗い・うがいをしているよ。 ・給食前には、アルコール消毒をするな。 ・9時には布団にはいるよ。 ・野菜をたくさん食べるようにしているよ。 ・お風呂に入ったら、髪の毛を乾かして、冷えないようにしている。 〕</p> <p>5 各グループで、出た意見を、予防の方法、効果毎にまとめ、理由を話し合う。</p> <p>〔 ・手洗いとうがいは病原体をやっつける効果があるね。 ・運動は、体力がつくから病気にかかりにくいよね。 〕</p> <p>6 発表して出た理由をもとに予防法を分類する。</p> <p>〔 ・病原体をやっつけるのは、手洗い・うがいと消毒だね。 ・運動と好き嫌いなく食べるは、体を丈夫にする仲間にするよ。 〕</p> <p>7 教師から、補説を聞く。</p>	<p>グループ 進行 カード</p>
振り返る	5	みんなで	<p>8 本時の学習を振り返る。</p> <p>〔 ・病原体を体の中に入れない。 ・体の抵抗力を高める。 〕</p> <p>9 各グループで感想を発表し合う。</p>	

前時に使用したものを掲示することで、病気の原因4つのキーワードを思い出すことができるようにする。



ブレインストーミングの4つの留意点について説明をする。

- 批判やコメントはしない。
- できるだけ多くの考えを出す。
- 友達の考えを参考にする。
- 合っているか合っていないかは関係ない。

司会者を中心にブレインストーミングを行い、経験したことや聞いたことなど、多くの予防法を出せるようにする。



※ 自分の考えを发表或し、友達の考えを聞いたりして、病原体が基になって起こる病気の予防法を理解することができる。

(観察)

- 理解が深まった子どもには、称賛し、健康に生活しようとする意識を高めることができるようにする。
- 理解が深まらない子どもには、視覚的に意識できるように絵などを用いて明確に確認できるようにする。

本時の学習での活動や気づきを価値付けし、これからの生活に意欲的に生かせるようにする。

